

1. 全般

本年度は、会員サービスの充実を図るため、事務所移転ならびに Web 拡充について 2 つのプロジェクト活動を推進するとともに、支部活動のさらなる進展を図り、会員増強と財務改善へ向けた活動体制を構築した。

- (1) 事務所移転は、臨時総会において定款変更に必要な議決数を確保できず、議決できなかった。事務所移転は冷却期間を置くこととし、会員の意見集約に努めることになった。
- (2) Web の拡充・整備を推進しインフラを整え、電子化による学会情報へのアクセスの利便性を向上させた。これにより、入退会の電子処理、ならびに技術委員会、研究会の活動成果のタイムリーな情報発信などが可能となった。
- (3) 関西支部が本格的な活動を始め、基礎講座、セミナー、見学会などを開催した。さらに、この活動は九州支部設立の機運盛り上げに繋がり、17 年度早々(4 月 7 日)に九州支部が立ち上がる運びとなった。
- (4) 大会、教育事業の運営努力による事業収入の向上で財務の健全化を図った。

2. 国際会議・学術講演大会・展示会等の開催 (定款第 4 条第 1 号関係)

(1) 国際会議「2004 ICEP」の開催

IEEE CPMT Japan Chapter と共催で第 8 回目の国際会議を 4 月 14 日～16 日の 3 日間、第一ホテル東京シーフォートにおいて開催。

「Nanotechnology Coming up」をテーマに海外 46 件 (内、招待講演 3 件) を含む 87 件の論文発表。国際交流会開催。

論文集 (A4 判・467 頁)。参加者数 282 名 (内、海外 50 名)。

(2) 2004 マイクロエレクトロニクスショー (2004 ME Show) の開催

4 月 14 日～16 日、「最先端実装技術・パッケージング展」と称して、東京流通センターにおいて開催。

出展社数 57 社、68 小間、製品技術セミナー参加社数 19 社・聴講者数 1,535 名、特別講演聴講者 440 名、「実装研究セミナー」参加者数 304 名、展示会来場者数 10,004 名。

(3) 第 19 回エレクトロニクス実装学術講演大会の開催

3 月 16 日～18 日の 3 日間、千葉県野田市の東京理科大学野田キャンパスにおいて開催。特別講演 1 件、依頼講演 14 件・一般講演 107 件で計 122 件の講演発表が行われた。

論文集 (A4 判・242 頁)。参加登録者数 738 名。

(4) 先端技術セミナーの開催

①第 36 回定例セミナー

「フレキシブル配線板の実装技術動向」をテーマに 7 月 14 日、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。

講演件数 7 件。参加者数 179 名。

②第 37 回定例セミナー

「エレクトロニクスを支える最新めっき技術」をテーマに 11 月 12 日、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。

講演件数 7 件。参加者数 133 名。

③第 38 回定例セミナー

「カーエレクトロニクスの技術動向」をテーマに 1 月 28 日、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。

講演件数 4 件。参加者数 97 名。

(5) 第 14 回マイクロエレクトロニクスシンポジウム (MES 2004) の開催

10 月 14 日～15 日, 大阪府吹田市・大阪大学コンベンションセンターにおいて開催。90 件の論文発表 (一般発表 88, 招待講演 2)。

論文集 (A4 判, 364 頁) 発行。参加者数 614 名。

(6) 関西支部の活動

・5 月 10 日: 基礎講座「鉛フリーはんだ付け技術」(中之島センター)。参加者数 47 名。

・6 月 16 日: 関西支部設立記念講演会(中之島センター)。講演件数 3 件。参加者数 102 名。

・11 月 10 日: 若手研究会セミナー「先進実装用樹脂材料」(中之島センター)。講演件数 3 件。
参加者数 69 名。

・17 年 2 月 4 日: 見学会/技術講演会 京セラ SLC テクノロジー・野洲工場で, 技術講演会と同工場見学会を開催。参加者数 55 名。

3. 調査・研究活動 (定款第 4 条第 2 号関係)

(1) ワークショップの開催

①2004 ワークショップ (修善寺) の開催

9 月 9 日～10 日の 1 泊 2 日で, ラフォーレ修善寺ホテル棟において開催。「IT・ネットワーク社会を先取りする先進実装」をメインテーマとし, サブテーマに “もの造りの国内回帰を狙う革新技术” と題し, 33 件の発表 (ポスターセッション) と 2 件の特別講演。参加者数 100 名。

②関西ワークショップ 2004 の開催

11 月 26 日, 京都府中京区, コープ・イン・京都において開催。「21 世紀の Jisso が切り拓くナノからテラの世界」をテーマに, 19 件の発表 (ポスターセッション) と講演 2 件。参加者数 120 名。

(2) 技術委員会の開催事業

①材料技術委員会公開研究会の開催

・11 月 19 日: 国立オリンピック記念青少年総合センター
“デジタル家電を牽引する最先端実装材料” 講演 9 件 参加者数 114 名

②電磁特性技術委員会サマーセミナーの開催

・8 月 25 日: 国立オリンピック記念青少年総合センター
“高速・高周波実装設計” 講演 11 件 参加者数 180 名

③信頼性解析技術委員会ワークショップの開催

・9 月 24 日: 回路会館
“環境対応実装システムの信頼性評価の最新技術動向” 講演 8 件 参加者数 84 名

(3) 公開研究会の開催

① 環境対応材料研究会

・2 月 28 日: 回路会館
“欧州環境規制の最新動向と材料への提言” 講演 6 件 参加者数 105 名

②超高速高周波エレクトロニクス実装研究会

・5 月 27 日: 回路会館
講演 6 件 参加者数 51 名

・8 月 20 日: 回路会館
講演 6 件 参加者数 45 名

・11 月 5 日: 回路会館
システム実装 CAE 研究会と共催
講演 8 件 参加者数 48 名

- ・17年2月25日：回路会館
講演8件 参加者数43名
- ③先進実装技術研究会
 - ・6月23日：回路会館
電子部品研究会と共催
講演3件 参加者数75名
 - ・17年3月7日：回路会館
電子部品研究会と共催
講演4件 参加者数68名
 - ・16年6月15日：横浜国立大学教育文化ホール
講演3件 参加者数93名
 - ・16年9月14日：横浜国立大学教育文化ホール
講演6件 参加者数78名
 - ・16年12月16日：横浜国立大学教育文化ホール
講演5件 参加者数62名
 - ・17年3月15日：横浜国立大学教育文化ホール
ポスターセッション34件 参加者数58名
(横浜国立大学教育文化ホールにて開催の4件は、横浜国立大学実装技術懇談会と共催)
- ④光回路実装技術研究会
 - ・5月26日：回路会館
講演4件 参加者数68名
 - ・11月24日：回路会館
講演4件 参加者数63名
 - ・17年1月26日：回路会館
講演4件 参加者数89名
- ⑤システム実装CAE研究会
 - ・11月5日：回路会館
超高速高周波エレクトロニクス実装研究会と共催
“EMC技術とシステムCAEの最新事例紹介”講演8件 参加者数48名
- ⑥マイクロファブ리케이션研究会
 - ・5月31日：回路会館
“超薄型化に挑戦するマイクロファブ리케이션技術”
講演5件 参加者数131名
 - ・9月8日：回路会館
“マイクロファブ리케이션を支える新材料技術”
講演6件 参加者数119名
 - ・12月15日：回路会館
“マイクロファブ리케이션における新しいパターン形成技術”
講演5件 参加者数102名
- ⑦ビルドアップ配線板研究会
 - ・11月15日：回路会館
“配線板技術をうらなう先端実装技術の動向”
講演4件、活動報告3件 参加者数89名
 - ・17年1月25日：回路会館

“高密度化を支える配線板の最新要素技術”
講演 2 件, 活動報告 6 件 参加者数 99 名

4. 普及・啓発活動 (定款第 4 条第 3 号関係)

- (1) 教育講座「実装技術入門講座」
5 月 20 日～21 日 回路会館 受講者数 20 名
- (2) PWB 製造技術講座
 - ・入門コース 8 月 5 日～6 日 回路会館 受講者数 45 名
 - ・中級コース 9 月 2 日～3 日 回路会館 受講者数 44 名
- (3) 先端技術特別講座
9 月 28 日 回路会館 受講者 47 名
- (4) 実装技術総合講座
10 月 21 日～22 日 回路会館 受講者 41 名
- (5) 技能検定設計実技講習会
11 月 25 日～26 日 回路会館 受講者 19 名
- (6) 光回路実装技術実践技術講座(初級編)
17 年 2 月 1 日～2 日 職業能力開発総合大学校 受講者 12 名 (同校との共同企画)

5. 情報収集及び提供活動 (定款第 4 条第 4 号関係)

- ・「エレクトロニクス実装学会誌」の発行
Vol.7-No.3～7, Vol.8-No.1～2 の計 7 冊を発行。内, Vol.7-No.5 は臨時増刊。総頁数 618 頁。

6. 内外機関等との交流・協力活動 (定款第 4 条第 5 号関係)

- (1) アジア連絡委員会の開催
4 月 15 日 (ICEP 開催 2 日目), アジアからの各国代表者で第 1 回アジア連絡委員会を開催し (欧米からの代表者はオブザーバ参加), 規約ならびに役員を議決した。
- (2) 「エコデザイン 2004 ジャパンシンポジウム」開催に協力
12 月 16 日～17 日, 日本科学未来館において開催された, エコデザイン学会連合主催の標記シンポジウムに協力。
- (3) 2004 JPCA ショー開催を後援
6 月 2 日～4 日, 東京ビッグサイトにおいて開催の 2004 JPCA ショーを後援。
- (4) 関連学協会の各種事業に協賛

【協賛】

1. 日本能率協会
 - 「第 4 回熱設計・対策技術シンポジウム」 4 月 21 日～23 日 幕張メッセ国際会議場
 - 「第 4 回カーエレクトロニクスデバイス展」 4 月 21 日～23 日 幕張メッセ国際会議場
 - 「第 17 回 EMC・ノイズ対策技術展/シンポジウム」 4 月 21 日～23 日 幕張メッセ国際会議場
2. レーザ加工学会
 - 「LPM 2004, The 5th International Symposium on Laser Precision Microfabrication」 5 月 11 日～14 日 奈良県新公会堂
3. 長野マイクロファブ리케이션研究会
 - 「第 4 回研究成果報告会」 5 月 11 日 信州大学
4. 表面技術協会
 - 「表面技術協会春季セミナー」 6 月 9 日 東京理科大学

5. 長野県工科短期大学校
「半導体・実装技術セミナー」6月16日 上田東急イン
6. 電気化学会 電子材料委員会
「第66回半導体・集積回路技術シンポジウム」6月24日～25日 機械振興会館
「第67回半導体・集積回路技術シンポジウム」12月16日～17日 機械振興会館
7. 電気学会
「平成16年度 電子・情報・システム部門大会」9月2日～3日 宇都宮大学
8. 応用物理学会
「第38回サマーセミナー（2004年）」8月20日～21日 富士教育研修所
「SSDM 2004」9月14日～17日 タワーホール舟堀
9. 日本時計学会
「2004年秋季マイクロメカトロニクス学術講演会」9月7日 学士会分館
「2004年秋季時計学会研究会」11月19日 中央大学
10. 日本ロボット工業会
「2004年実装プロセステクノロジー展」10月6日～8日 幕張メッセ
11. 軽金属製品協会試験研究センター
「アルミニウム陽極酸化皮膜の電気特性講演会」11月17日～18日 化学会館
12. 腐食防食協会
「第30回腐食防食入門講習会」11月17日～18日 東京工業大学
13. 精密工学会
「第302回講習会」11月26日 工学院大学
14. 電子情報通信学会 集積回路研究専門委員会
「第8回システムLSIワークショップ」11月29日～12月1日 北九州国際会議場
15. 東京工業大学 精密工学研究所
「精密工学研究所シンポジウム」11月8日 東京工業大学
16. ものづくりクラスター協議会
「表面処理技術分野第6回セミナー」12月1日 大阪大林ビル
17. 色材協会
「第2回色材IT講座」12月2日～3日 東京工業大学
18. 溶接学会
「Mate 2004」平成17年2月3日～4日 パシフィコ横浜

7. その他

(1) 九州支部の設立準備

平成17年度設立を目指し、体制作りを推進。

(2) 事務局長の交代

平田勝子の定年退職に伴い、橋本 薫が新事務局長に就任(平成17年1月4日付)。

*17年3月31日現在 会員数

正会員 2,750名(前年同期比 106名減) [今期の最大会員数は2,824名]

学生会員 107名(前年同期比 1名減)

賛助会員 215社(前年同期比 10社減)